

今月のコラム Column of this month

“結婚式のゲストファッション”について”

7月になると多くの地域で梅雨が明けて、本格的な夏になりますね！
7月 7日・七夕、竹笹の枝に色とりどりに飾られる、願いをこめた短冊が思い浮かびます。
また、牽牛と織女が年に一度会えるという物語を誰もが知っているでしょう。
日本の各地でさまざまなお祭りや行事がおこなわれます。七夕飾りの揺れる短冊に、ふるさとの夏祭りをなつかしく思い出す今日この頃です (^ ^)



今月は、「結婚式のゲストファッション」です。

服：

昼間の披露宴：できるだけ肌の露出をおさえた装いをするのがマナー。
肩だしドレスには、ストールを！
アクセサリなども控え、光沢感をおさえましょう。

夕方～夜の披露宴：ロング丈・袖なしのドレスが正式なスタイルです。
色やデザインも比較的自由で、光モノもOKです。

黒いドレスを着る際は、黒一色にならないよう、ストールやコサージュなどを取り入れて華やかに。夜の場合は小物で華やぎを演出して花嫁をイメージする白系も避けて、花嫁より華美になりすぎないように、気をつけましょう。

バッグ：

革のバッグ：フォーマル感があるので披露宴向き。
腕にかけることもできるハンドバッグは
写真撮影のときなども手が空くので、使い勝手も

布製などのバッグ：少々カジュアルな印象なので注意。
ビーズやスパンコールなどをあしらったタイプは、
ファッションのポイントに取り入れても。

大きなバッグはカジュアルな印象を与えるため、
披露宴の席には不向きです。特に布やビニール製のものは
フォーマル感に欠けるので、できるだけ避けましょう。

シューズ：

パンプスなら間違いなし！シルバーやゴールドといった
華やかな色合いや、きらびやかな飾りつきのものならなおGOOD
基本はパンプスですが、最近ではサンダルもよしとされています。
また、儀式の場で素足は絶対に避けましょう！



結婚の知らせを受けたら一緒に喜びを分かち合う気持ちが、もちろん何より大切ですが、招待客にとって、結婚式当日のファッションも大切なマナーのひとつです。思いやりの心で考えられるといいですね